

# 東吾妻町都市計画マスタープランの案に対する意見の概要と町の考え方〔集約表〕

パブリックコメント（意見公募）期間：平成31年1月18日～2月7日

受付	No.	項目	意見の概要	町の考え方
1	1	第3章目指すべき将来像 3-1 将来の都市像について	<p>第3章の目指すべき将来像の基本目標に、「情報コミュニティ〔ICT〕で安全・安心・移住促進のまちづくりを考えていく」を追加する。</p> <p>例として、岩櫃等の景観を観光者が散策できる歩道建設、歩道各ポイントにスマホへの歴史提情報提供や移住促進のための土地空き利用等の情報を他県からの散策者が容易に収集できるネットワークの構築。</p>	<p>最上位計画であります東吾妻町総合計画にて、情報通信技術（ICT）の活用を位置づけており、今後進めて行くこととしています。</p> <p>都市計画マスタープランにおきましても、このような技術を活用しながら取り組みを進めていくことを考えておりますので、いただきましたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
2	2	観光全般について	<p>観光資源は十分に整備されておらず、中途半端な整備とサービスでせつかく立ち寄った観光客が「満足」ではなく「残念な思い」をして帰るといった構図も十分に予想されます。</p> <p>全国の主要観光地と比べれば比較対象にもなりません。観光収益を上げようとするなら、町内観光業従事者の質の向上が最優先です。物（ハード）ではなく人（ソフト）を魅力的にして観光収益を上げる方法を検討すべきです。</p>	<p>最上位計画であります東吾妻町総合計画において、ハード・ソフトの両面の観光施策を位置づけており、今後進めて行くこととしています。</p> <p>都市計画マスタープランにおきましては、そのような施策を支えるための環境整備や景観保全に向けた取り組みを位置づけておりますので、いただきましたご意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
2	3	各地区の方針について	<p>「公共交通ネットワークの見直し」という文言が多用されていますが、内容が不透明で全くわかりません。通勤通学はもちろん、交通空白地や交通弱者への対応策も不透明です。公共交通ネットワークを行政と公共交通事業者だけで議論するのもナンセンスです。住民への聞き取り調査等を十分に実施し、有効且つ低予算で交通ネットワークを構築していただきたい。</p> <p>現在、坂上地区だけでも買物要支援者が25名以上居ます。この住民たちを町はどのように支援するのでしょうか？ペットの避妊手術には補助金があるのに、買物要支援の高齢者には何もありません。</p> <p>これは地方自治体として誠に恥ずべきことです。</p>	<p>公共交通に関しましては喫緊の課題として認識しております。このことから、交通空白地帯の解消に向け、法定協議会である東吾妻町地域公共交通活性化協議会を継続的に開催し、調査・検討を進めております。また、乗合バスの運行を行っております。</p> <p>総合計画及び都市計画マスタープランにおいて、公共交通ネットワークの見直しを施策として位置づけておることから、今後、路線網の再編や利用促進に向けた周知活動など、具体的な取り組みを進めていく予定でございます。</p> <p>いただきましたご意見は、このような取り組みを行う際に検討すべき事項でございますので、今後の参考とさせていただきます。</p>
2	4	6-1 推進体制の構築について	<p>「町民主体で町民や事業者への参加や協力を求める」と条文に謳っていることは良いことです。</p> <p>しかしそれを統括する行政側、また議員等がそのオーガナイザーとして、その模範となる行動を取っているかが重要だと思います。町民の失望感や職員の方々が考えている以上に深刻です。十二分にコミュニケーションを図り、相互理解を深めなければ町の将来は明るくならないと感じます。</p>	<p>いただきましたご意見は、真摯に受け止めさせていただきます。</p>